

越前海岸ワーケーション 体験レポート

ワーケーション期間中の写真・所感

《1日目》

1. 農家民宿へいよもんに投宿

雪の影響で東京から福井へ向かう電車が遅れ、遅い時間（20時頃）の到着になりましたが、宿の方に暖かくお迎えしていただきました。

2. 宿でテレワーク

雪の影響で、朝のほやほや号（オンデマンドの公共交通機関）が運休したので、朝は宿のWi-Fi環境をお借りしてテレワーク。宿の窓からの雪景色と滝を眺めながらの仕事は、いつもと異なり、疲労の蓄積はほとんどなく、リフレッシュしながら作業を進められました。



3. 越廼サテライトオフィスでテレワーク

雪の影響で少し遅れて、ほやほや号を利用し「越廼サテライトオフィス」に移動しました。「越廼サテライトオフィス」はありえないくらい広い空間で、窓からの素晴らしい景色も相まって、いつも以上に効率的に業務をすすめられました。また、オフィスには複合機も設定されていました。当日は雨天で、休憩時間に散歩は出来ませんでした。次回以降の楽しみとしたいと思います。



4. くにみクラゲ公民館見学

テレワーク後は、知人の車で国見クラゲ公民館へ。

元水族館にお勤めの方が、廃館になった公民館とクラウドファンディングを利用して開館した水族館とのこと。水族館なのでクラゲ以外の海の生物もいます。ゆらゆら揺れながら泳ぐくらげや珍しいカラージェリー（真ん中の写真）癒され、親しみやすい館長さん直々の解説に好奇心をくすぐられました。



《2日目》

1. 古民家再生

翌日は10時頃から、福井市内の古民家再生のお手伝い。砂壁をはがして、漆喰に塗り替える作業を実施しました。左官作業は人生初でしたが、家主の丁寧な指導もあって楽しく作業を進められました。

作業工程

- ① 砂壁に霧吹きで水を吹きかける、
- ② スクレーパーで砂壁をきれいにはがす
- ③ コテで白色の漆喰をかべに塗る
- ④ 完成！



2. 日帰り温泉

鷹巣荘で日帰り温泉を利用しました。とっていいお湯で、丸一日、肉体労働した疲れが癒えました。今日も雨天で、普段は日本海に沈む雄大な夕陽が見られるとのことなので、次回以降の楽しみとして取っておくことにしました。

雑感

・どこに行っても、殺伐とした雰囲気は一切ありませんでした。日帰り温泉が社交場となっている風景や、地元の知人が馴染みの商店で買い物をして店主と少し会話をしている姿はどこか、懐かしく感じました。

・余計なプレッシャーがない分、仕事や仕事以外の体験に集中ができ、仕事をしながらリフレッシュできました。

ワーケーション参加者へのアドバイス

・テレワークについて

「越廼サテライトオフィス」での作業に関しては、自宅でのテレワーク環境と全く変わりません（複合機があるので、自宅以上です）。是非、安心していらしてください。複合機の使用方法は事前に福井市の方にお尋ねください。

・仕事以外の活動について

気張って考える必要はありません。宿の周囲を散歩するだけで、大自然を満喫できます。

1週間ほど滞在するなら、現地到着後、宿の方に相談するのもおすすめです。

私個人は古民家再生を体験しましたが、汚れても良い服を持参すると良いかなと思いました（当日はエプロンを家主からお借りしました）。

5月中旬～8月上旬、越前海岸の日没は19時頃なので、17時以降の日没までの2時間を有意義に過ごせると思います。

・買い物について

越前海岸地区に関しては、自動販売機を含めお店が皆無に等しいです。投宿予定の宿周辺に買い物施設が無い場合は、福井駅前で購入してからお越しになることをお勧めいたします。なお、越廼サテライトオフィスに関しては、電子レンジや湯沸かし器、シンク、冷蔵庫（牛乳等が保存できます）があるので、それらを利用して準備・食材を保存することも可能です。

・公共交通機関について

私が投宿した殿下地区は、他の越前海岸の地区と比較して、公共交通機関の便数が少ないエリアでした。

「越廼サテライトオフィス」がある水仙の里→殿下地区への最終バス（ほやほや号）の出発時刻が早いのがネックとなりますので、事前に京福バスのHPなどで確認することが重要です。

越前海岸沿いに投宿された方は、17時のサテライトオフィス閉館後、「越廼サテライトオフィス」がある水仙の里17:50発のバス（2021年12月現在、毎日運行）で、18時頃「波の華温泉」に到着、夏季は日本海の雄大な夕陽を眺めながら入浴し、波の華温泉を19:09又は19:39発福井駅行きのバス（2021年12月現在、平日に限り運行）で越前海岸各地区（除く殿下地区）の宿へ戻ることもできます。（寒くない時期で、脚力に自信がある方は、「越廼サテライトオフィス」～「波の華温泉」までの約3.5kmを、海岸線沿いに大自然を満喫しながら歩いても楽しいと思います。運動の後のお風呂と入浴後の冷たいビールは最高です♪）

殿下地区に投宿された方は、大味（越前海岸沿いで殿下地区に最も近いバス停）→殿下間の交通手段を事前に宿の方と相談されると良いと思います。

ワーケーション施策に関するフィードバック

A 施策について

1. ワーケーションはこれまで、日本ではほとんど無かった概念です。普及に向けては、福井市単独で努力しても定着はしないかと思えます。よって普及に向け、①福井市が他の自治体にも声掛けして、他の自治体と協調して行う（例：各自治体がふるさと納税のお礼の品にワーケーション体験を盛り込むこと、②（福井市ができれば全国、少なくとも福井県内の自治体は統率して）ワーケーションポータルサイトを設置すること（イメージとしてはふるさと納税のポータルサイト）、③国に支援を求める（例：日帰り入浴施設にワーケーションスペースを増築することに補助金）こと、などが効果的ではないでしょうか。

B 福井市への提言

1. サテライトオフィスに限らず各拠点、各施設で Wi-Fi 環境を整え、サテライトオフィス以外でもテレワークができるようにする（プリンターは必須ではない）
2. 各拠点（公民館、宿舎、学校（特に3季休み中）、やそれら周辺の森の中やテラス）など、Wi-Fi の届く範囲で多様性を持たせる（ある日は森の中、ある日は宿、ある日は学校の空き教室で出来るようにする。予算を節約するため各拠点は、①既存の建物の一角を使用、②テラス等の設備は古民家や学校等から発生する中古品活用（一か所に集め、シルバー人材を活かして仕訳け＝捨てればゴミ、分ければ資源）、③簡単な設備工事であればシルバー人材の活用すること、④ワーケーションでいらした方に自分好みの環境を作っていただくようにすること（自分で作れば、その場所に愛着をもっているだけ可能性がある）を基本とする
3. 公共交通機関の便数は課題。今回（2021年12月下旬）、越前サテライトオフィス→殿下地区への公共交通機関（ほやほや号）の最終は 15:20 でした。大型連休、夏休みなど需要が見込まれる期間だけでよいので、波の華温泉→殿下地区のほやほや号を19時過ぎまで延長していただきたい（実現すれば、波の華温泉で入浴してから公共交通機関で各宿（含む殿下地区）に戻ることも可能になる）。
4. 3. が困難であれば、比較的公共交通機関の便数が多い「波の華」や「鷹巣荘」内にサテライトオフィス拠点を設けてみてはいかがでしょうか。夏季であれば日も長いので、各日帰り温泉で 18 時にテレワーク終了、そのあと夕陽を眺めながら温泉といったことも可能になります。
5. 3及び4と重複しますが、越前海岸地区の公共交通機関だけですべての体験が完了できるモデルプランや、思い切って、車や公共交通機関を使わないで体験できるプラン作成もご検討いただきたいと思います。新たに導入された E-BIKE の活用も良いと思います。越前海岸沿いは平坦な道が多いので、雪が無い時期、片道5～6km程度の移動であれば苦になりません。また子供連れも意識して、子供用自転車や二人乗りの自転車があると嬉しいです。
6. 2. とも重複しますが、予算を節約する観点で既存施設を活用してください。越前海岸地区を車で通過しましたが、児童数に見合わない大きさの綺麗な校舎、市役所出張所、空き家を複数みかけました。クラゲ公民館はその良い活用事例です。予算を使って良いものは誰でもできます。少ない予算での実施は腕の見せどころかと思えます（例：海岸沿いの公衆トイレの近くに、水道だけ整備して砂浜上にキャンプ場を新設。費用徴収・清掃はシルバー人材センターに委託する）
7. 交通という観点では福井市中心部と比較すると不便な地域ですが、それがこの地域の文化を育んでいると思えます。上記にありますように不便な環境下で、来訪者に考えることを売りにしていただきたいと思えます。（例：波が穏やかな時期は早朝宿近くで釣りしてから、釣果で朝食をとり、（海岸地域バスで水仙の里に移動後）設備が整ったサテライトオフィスで仕事する。）